


令和8年度青森県特別支援学校技能検定・発表会
 「清掃分野」【基礎コース (自在ぼうき)】指導マニュアル
 (制限時間 10分) ※制限時間を超えた時点で、検定終了となる。

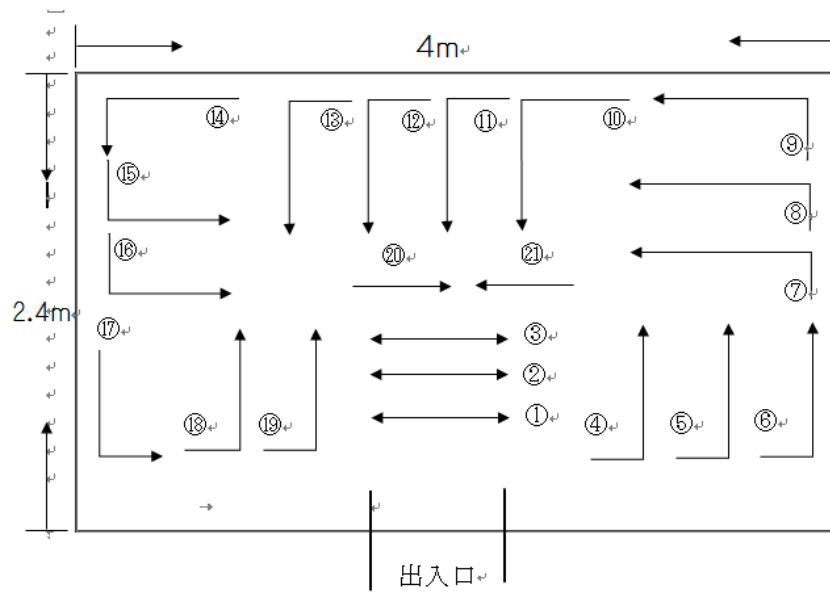
作業項目	イメージ	作業内容	評価内容(★)・指導上の留意点
身だしなみ		※受検者は、受検者待機場所の椅子に座っている状態から始める。 ・検定員の「□番〇〇学校△△さん」という呼名に対して「はい」と返事をして椅子から立ち、スタートラインに着いて静止する。 ・検定員の「では始めてください」という合図で開始する。 ※計測開始	★適切な服装・態度 ・身だしなみについて合理的配慮が必要な場合は、事前に申請する。 ・帽子、頭髪(長い髪は束ねる)が整っている。 ・上着のボタン、ファスナーが閉まっている。 ・Tシャツの裾がズボンに入っている。 ・ベルト通しのあるズボンの場合、ベルトをしている。 ・ズボンの裾を引きずっていない。 ・靴ひもは結び、かかとは踏まない。 ・袖は全て下ろしている。

1 審査員に開始を伝える		①「はい、□番〇〇学校、△△(氏名)です、始めます」と言って準備を始める。	★審査員に伝わるように開始を伝える ・発語がない場合、挙手・音声機器・タブレット端末等でも可。その際は必ず事前に合理的配慮の申請をする。
2 作業準備等		②作業表示板を清掃枠の外に立てる。	★作業表示板を所定の位置に置く ・作業表示板は、清掃枠の出入口に向かって左側の清掃枠の端に、表示が見えるように立てる。清掃枠の枠に沿って垂直に立てる。
3 入室		①ほうきを手に取り、出入口で「失礼します」と一礼し、入室の挨拶をする。	★挨拶して入室する ・出入口を通る。 ・柄の長さは必要に応じて調節してもよい。適切な長さは、柄の先端がおよそ鼻からあごの間の位置にすると使いやすい。(評価の対象とはしない。)

作業項目	イメージ	作業内容	評価内容 (★) ・指導上の留意点
<p>4 掃き作業</p>		<p>②自在ぼうきは柄の先端を親指で押さえ、反対の手で順手で握る。</p> <p>③自在ぼうきで出入口正面を掃く。自分の足が入る前に、横に2～3回掃き、歩くスペースを確保する。</p>	<p>★柄の先端を親指で押さえる ★反対の手は順手で柄を握る ★ぼうきの向きを確認する</p> <p>★自分の足が入る前に横に2～3回掃き、歩くスペースを確保する ・利き手に関係なく、反時計回りで掃き進めていく場合は、左手が上で、右手が下になる。時計回りで掃き進めていく場合は右手が上で、左手が下になる。</p>
		<p>④自在ぼうきで掃けるスペースに立ち、幅木に沿って掃く。</p> <p>⑤自在ぼうきを振り回したり、壁際にぶついたりしないように掃く。</p>	<p>★自在ぼうきを振り回したり、壁際にぶついたりしないように掃く ・壁際(部屋の壁)を傷つけないよう、自在ぼうきを振り回したり、壁際にぶついたりしないように掃く。</p>
		<p>⑥自在ぼうきを押しつけるように掃く。 (押さえ掃き) その際、掃き終わりは毛先を振り上げない。</p> <p>⑦掃いたあとは床にトントンと毛先をたたきつけてほこりを落とす。</p>	<p>★自在ぼうきを床に押しつけるようにして掃く ★掃き終わりで毛先を振り上げない ★掃いた後はトントンと自在ぼうきをたたきつけ、毛先についたほこりを落とす ★ぼうきの向きを変えない</p>
		<p>⑧壁際は後方(かかとより後ろ)から前方へ掃く作業をする。</p>	<p>★後方から前方へ掃く</p>
		<p>⑨隅の掃き方は、自分のかかとの後方から始め、幅木から離れずに前方へまっすぐ出す。(左写真)</p>	<p>★自分のかかとのやや後方から始める ★幅木から離れずに前方へまっすぐに出す</p>
		<p>⑩隅を掃くときは、幅木に対してぼうきのヘッドが斜めに先行している。(左写真)</p>	<p>★隅が近付いたら斜めにする ・幅木に対してヘッドを斜めにして掃く。 ★つま先の前までぼうきを出す ★そこから真横に掃く</p>
	<p>⑪中央にごみを集める。</p>	<p>・ごみを集める時は、出入口側に背を向けて行う。</p>	

作業項目	イメージ	作業内容	評価内容(★)・指導上の留意点
5 ごみの処理		<p>①文化ちりとりを資機材置き場に取りに行き、集めたごみを回収する。</p> <p>※ちりとりを取りに行く際の入退室時は、会釈のみでよい。</p> <p>②文化ちりとりの中にほうきの先半分を入れ、ごみを回収する。</p>	<p>★正しい構えでほうきを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脇と腕で柄をはさんで持つようにする。 ・ごみを集める時は、出入口側に背を向けて行う。 <p>★文化ちりとりの中にほうきの先半分を入れる</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ごみの取り残しがない ★決められたコースで掃く ★ほうきの向きを変えない
6 点検		<p>③片方の手で自在ぼうきと文化ちりとりを持ち、ごみの取り残しがないか四隅を指差し、点検する。</p> <p>④ごみの掃き残しを見つけたら、自在ぼうきと文化ちりとりで取る。</p>	<p>★指差し点検をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指差しと同時に「よし」と言葉に出す。声が出なくても指差し点検ができていればよい。
7 退室		<p>①出入口で一礼し、室内に向かって「失礼しました」と挨拶をして退室する。</p>	<p>★挨拶して退室する</p>
8 片付け		<p>②文化ちりとりと自在ぼうきを資機材置き場に返す。</p> <p>③作業表示板を閉じ、資機材置き場に返す。</p>	<p>★使った道具を資機材置き場に返す</p>
9 報告		<p>④所定の場所(スタートライン)に立ち、姿勢を正す。</p> <p>⑤「終わりました」と言って終了を伝える。</p> <p>※計測終了</p>	<p>★審査員に伝わるように終わりの報告をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発語がない場合、挙手・音声機器・タブレット端末等でも可。その際は必ず事前に合理的配慮の申請をする。

【掃き作業の手順】



※①～③は右からでも左からでも掃いてよい。(評価には影響しない)

【会場図】

